

1 事業の成果

同性愛者や性同一性障害など性的マイノリティの人たちが恒常的に集えるコミュニティスペースを常時（週 4 日・年間述べ 189 日）オープンし専門のスタッフが常駐していることにより、そこがハブとなり、行政・教育などと連携が図れ、講演をはじめ様々な事業の増加にもなっている。

(1) 健康支援

HIV 即日検査・カウンセリング・電話相談など総合的なサポート体制により、心と身の健康支援を実施。HIV 性感染症検査（受検者 135 名）においては HIV(+)0 件、梅毒 TPHA 15 件、B 型肝炎 0 件の陽性者を医療機関につなぐことができた。

また、カウンセリング事業は 28 年度 166 件、29 年度 150 件とやや減少傾向がみられていたが、30 年度は延べ相談件数 173 件と増加した。

電話相談事業「SHIP ほっとライン」においても、28 年度 148 件、29 年度 170 件、30 年度は 169 件と、前年度と比べ横ばいであった。

(2) コミュニティ支援

性的マイノリティが自由に集える交流スペースを週 4 日間、年間 189 日間オープンし、367 名の利用があった。また、中高生の居場所づくりとして「放課後 SHIP」を年 8 回開催し 30 名の参加があった。述べ利用者数は 397 名（前年度比で 96%）であった。

グループミーティングは、セクシュアリティや年齢別に 7 種類、63 回開催し、参加者数は述べ 377 名であった。

また、行政との連携により、横浜市においては交流スペースを 24 日間開設、神奈川県においてはグループミーティングを 11 回開催、横須賀市においてはグループミーティングを 12 回開催した。

(3) 性的マイノリティの人権擁護に関する一般社会への啓発

教育機関・行政と連携を長期間持続している成果として、講演の回数は 138 回に増加した（前年度は 125 回）。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 健康支援事業

ア HIV/AIDS 等性感染症の検査の実施（厚生労働省エイズ対策研究事業）

- ・ 内 容 HIV・性感染症検査（即日検査）
- ・ 日 時 毎月 1 回 月曜日、受付時間 17:40~20:00（終了 22:00）
- ・ 場 所 かながわ県民センター
- ・ 従事者人員 延べ 61 人（医師、看護師、検査技師、事務）
- ・ 受益対象者 県内および首都圏に住むゲイ・バイセクシュアル男性 135 人
- ・ 支 出 額 1,231,582 円

イ 相模原市臨時検査広報・予約受付業務（相模原市保健所委託事業）

- ・ 内 容 臨時検査の広報、予約受付、相談員の派遣業務
- ・ 日 時 12 月 4 日
- ・ 場 所 さがみはら Buono!
- ・ 従事者人員 3 人
- ・ 受益対象者 20 人
- ・ 支 出 額 67,762 円

ウ カウンセリングによるメンタルヘルス支援

- ・内 容 希望者に対しての対面面接による問題解決支援
- ・日 時 隔週金曜 14 時～20 時、隔週土曜 12 時～17 時、隔週水曜 17 時～20 時 (計 54 回)
- ・場 所 横浜 AIDS 市民活動センター (中区尾上町 3-39 尾上町ビル 9 階)
- ・従事者人員 延べ 54 人 (臨床心理士)
- ・受益対象者 来談者 延べ 173 人
- ・支 出 額 456,392 円

エ ホットラインによるメンタルヘルス支援

- ・内 容 電話相談
- ・日 時 毎週木曜 19 時～21 時 (2 時間)
- ・場 所 特定非営利活動法人 SHIP の事務所
- ・従事者人員 延べ 85 人
- ・受益対象者 相談成立 述べ 169 名
- ・支 出 額 363,558 円

オ 横浜市個別相談支援 (横浜市委託事業)

- ・内 容 臨床心理士による無料の対面相談
- ・日 時 4 月～3 月までの期間 計 25 回
- ・場 所 横浜市内 (横浜市青少年相談センター、西区福祉保健活動拠点「フクシア」)
- ・従事者人員 延べ 25 人
- ・受益対象者 延べ 22 人
- ・支 出 額 899,431 円

カ 神奈川県派遣相談 (神奈川県委託事業)

- ・内 容 臨床心理士など専門相談員の派遣相談
- ・日 時 4 月～3 月までの期間 計 24 回
- ・場 所 県内 (学校や公共施設)
- ・従事者人員 延べ 26 人
- ・受益対象者 延べ 24 人
- ・支 出 額 187,352 円

② コミュニティ支援事業

ア コミュニティスペースの運営

- ・内 容 性的マイノリティが恒常的に集える場所としてコミュニティスペース「SHIP にじいろキャビン」を開設し、情報の提供や相談を実施する。
- ・日 時 毎週水・金・土曜 16:00～21:00、日曜 14:00～18:00 延べ 189 日
- ・場 所 特定非営利活動法人 SHIP の事務所
- ・従事者人員 220 人
- ・受益対象者 県内および首都圏に住む性的マイノリティ 述べ 397 人
- ・支 出 額 2,720,681 円

イ グループミーティングの開催

- ・内 容 性的マイノリティやその家族が交流できるグループミーティングを開催。
- ・日 時 4 月 8 日～3 月 23 日の期間 63 回

- ・場 所 かながわ県民センター、神奈川県内公共施設等
- ・従事者人員 延べ 193 人
- ・受益対象者 県内および首都圏に住む性的マイノリティ、およびその家族 延べ 377
- ・支 出 額 979,397 円

ウ 横須賀市交流会の運営(横須賀市補助事業)

- ・内 容 横須賀市における 10 代・20 代を対象としたグループミーティングの開催
- ・日 時 5 月 12 日～3 月 9 日の期間 12 回
- ・場 所 横須賀市内、公共施設
- ・従事者人員 延べ 24 人
- ・受益対象者 横須賀市とその周辺地域の性的マイノリティ 延べ 26 人
- ・支 出 額 413,360 円

エ 横浜市交流スペースの運営(横浜市委託事業)

- ・内 容 性的マイノリティの交流スペースの運営
- ・日 時 4 月～3 月までの月 2 回 (計 24 回)
- ・場 所 横浜市内 (男女共同参画センター横浜)
- ・従事者人員 延べ 48 人
- ・受益対象者 延べ 116 人
- ・支 出 額 1,105,440 円

オ 神奈川県交流会の運営(神奈川県委託事業)

- ・内 容 性的マイノリティの交流スペースの運営
- ・日 時 5 月 13 日～3 月 3 日の期間 月 1 回 (計 11 回)
- ・場 所 かながわ男女共同参画センター (かなテラス)
- ・従事者人員 延べ 22 人
- ・受益対象者 延べ 29 人
- ・支 出 額 185,478 円

③ 性的マイノリティの人権擁護に関する一般社会への啓発事業

ア 一般社会への啓発事業

- ・内 容 多様な性的マイノリティの可視化および人権擁護の意識を高める。特に学校や社会生活を送るうえでの困難について重点的に扱う。
- ・日 時 4 月～3 月まで、延べ 138 回
- ・場 所 小中学校、高等学校、大学、行政施設、公共施設など
- ・従事者人員 延べ 238 人
- ・受益対象者 県内の学校教職員・生徒・学生、行政関係者、一般市民 延べ 8,300 人
- ・支 出 額 2,372,889 円

イ 横浜市啓発事業

- ・内 容 性的マイノリティの理解に向けた啓発イベントの実施。
- ・日 時 3 月 21 日
- ・場 所 横浜駅東口 新都市ホール
- ・従事者人員 延べ 4 人
- ・受益対象者 一般市民 延べ 1,000 人
- ・支 出 額 260,648 円

イ 啓発資材作成（大塚商会ハートフル基金）

- ・内 容 性的マイノリティの理解に向けた啓発資材を作成し、県内の中学・高校や公共施設に郵送する。
- ・日 時 2月～3月
- ・場 所 神奈川県内の中学・高校、公共施設
- ・体裁・部数 「Presence Letter2019」 A3サイズ・2つ折り 10,000枚
「交流・相談マップ」 A4サイズ・2つ折り 22,000枚
- ・支 出 額 308,937円